

JT 業績報告書

株主メモ

決算期
定時株主総会
期末配当金支払株主確定日
中間配当金支払株主確定日
公告の方法

3月31日
6月
3月31日
9月30日
電子公告
当社ホームページ(下記URL)に掲載
<http://www.jti.co.jp/>

※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・特別口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社
(事務取扱場所)
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
(お問い合わせ先 郵便物送付先)
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711
(受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
(特別口座に関する手続用紙のご請求)
特別口座をご利用の株主様の住所変更、配当金振込指定・変更に必要な各用紙及び株式の相続手続依頼書のご請求は、特別口座管理機関のフリーダイヤル(0120-244-479)で24時間承っておりますので、ご利用ください。
口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

株式の諸手続き



JT将棋日本シリーズ(東京大会)

contents

2009年3月期決算のご報告(2008年4月1日から2009年3月31日まで)

特集

●中期経営計画「JT-11」について

JTグループ企業のご紹介
日本フィルター工業株式会社

旅路の先で出会う温故知新/
函館市北方民族資料館

青少年育成に関するNPO助成事業

2009年度「JT将棋日本シリーズ」開幕!

「たばこ塩の博物館」リニューアルオープン!!

株主優待商品のご案内

ニュース掲示板

JTグループ商品のご案内

- ルーツ「アロマブラック」 リニューアル
- ルーツ「アロマレポリユート」 新発売
- 「たご焼き」 リニューアル
- お弁当シリーズ「ミニ春巻」 好評発売中

株式の諸手続きについて

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル

電話:03-3582-3111

<http://www.jti.co.jp/>



2009年3月期(2008年度) 決算のご報告



ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2009年3月期(2008年度)決算は、海外たばこ事業における売上成長に加え、ギャラハー社及び加ト吉グループの連結等により売上高は増収、EBITDA(営業利益+減価償却費)は増益となり、過去最高を達成いたしました。一方ギャラハー社及び加ト吉ののれん償却開始等により、営業利益・経常利益・当期純利益は減益となりました。しかしながら、国内たばこ事業においては2期連続のシェアアップを達成、海外たばこ事業においては、JTグループの「利益成長の牽引役」として期待以上の成果を上げることができました。また医薬事業においては臨床開発品目の着実な充実が図られ、食品事業においては、加工食品事業及び調味料事業の集約・統合を進め、一層の食の安全性の確立に取り組むなど、着実な成果を上げました。

2010年3月期業績予想につきましては、国内たばこ事業における総需要の減少、海外たばこ事業における為替の影響等により減収減益を見込んでおりますが、たばこは比較的景気の影響を受けにくい商品であり、ビジネス自体は堅調に推移しております。今後ともブランドに対する事業投資を積極的に行い、必要な施策を着実に実行し、将来の飛躍につな

がるよう事業基盤の確立にまい進してまいります。

世界的な景気後退が深刻化しており、企業収益の大幅な減少や雇用情勢の急速な悪化等、厳しい状況が続いております。このような状況の中、これまで推進してきた戦略を継承し、さらに発展させるべく、2011年までの3年間についての中長期経営計画「JT-11」を策定いたしました。「JT-11」期間中の3年間は、「JTならではの多様な価値をお客様に提供するグローバル成長企業」という長期ビジョンの実現に向け、「環境変化を見据え、将来に向けた投資と不断の業務改善を通じ、力強い事業モメンタムを確たるものにしていく期間」として位置づけ、事業を推進してまいります。

2009年3月期の期末配当につきましては、1株当たり2,800円とし、中間配当と合わせ、年間配当金は1株当たり5,400円とさせていただきます。今後の配当については、中期的にのれん償却影響を除く、連結配当性向30%を目指し、安定的、継続的な配当向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年6月
代表取締役社長

木村 宏

「2009年3月期(2008年度)決算の概要」

2009年3月期決算は表1をご覧くださいとおり、売上高は、国内たばこ事業における総需要の減少に伴う販売数量の減少、海外子会社を連結する際の為替換算レートのマイナス影響等があったものの、海外たばこ事業における販売数量の増加、ギャラハー社及び加ト吉グループ業績の通期化寄与により増収、及びEBITDA(営業利

益+減価償却費)は増益となり、ともに過去最高を達成しております。一方、会計基準の変更に伴う海外たばこ事業におけるのれんの償却開始等により、営業利益・経常利益・当期純利益は減益となりました。のれん償却の影響を除いた利益指標を参考としてお示しします。

表1 2009年3月期(2008年度)決算

(単位:億円)

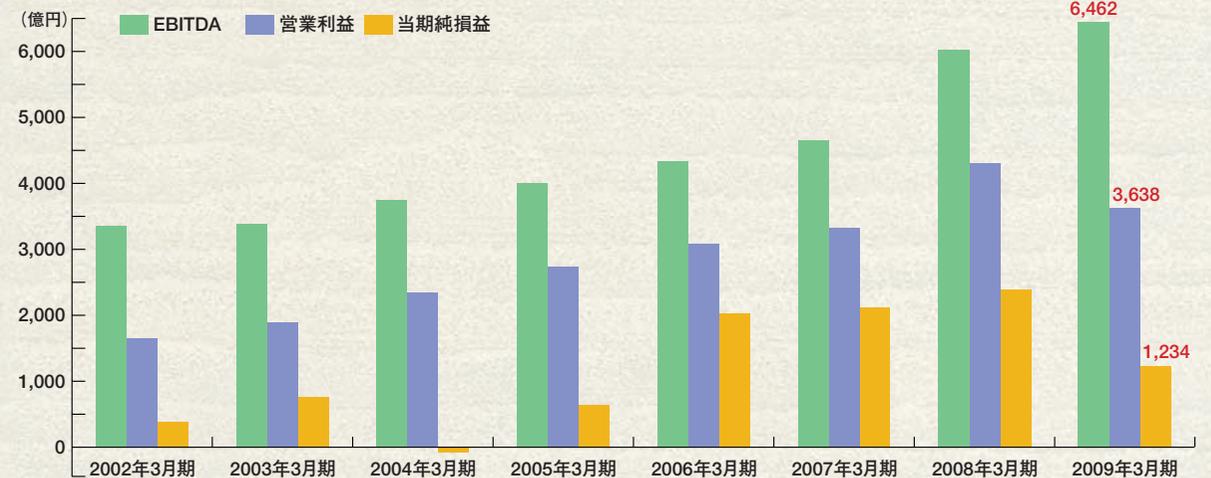
	2008年3月期実績	2009年3月期実績	増減
税込売上高	64,097	68,323	4,225
税抜売上高 ^{※1}	20,683	22,951	2,267
EBITDA ^{※2}	6,020	6,462	441
営業利益	4,305	3,638	△ 667
経常利益	3,626	3,075	△ 550
当期純利益	2,387	1,234	△ 1,153

※1 税抜売上高 たばこ税、国内たばこ事業における輸入たばこ、海外たばこ事業における物流事業を除く
※2 EBITDA=営業利益+減価償却費 キャッシュフローベースの利益

参考:のれんの償却影響を除く主要利益

営業利益	4,344	4,693	348
経常利益	3,665	4,130	465
当期純利益	2,425	2,289	△ 136

図1



各事業の概要

国内たばこ事業

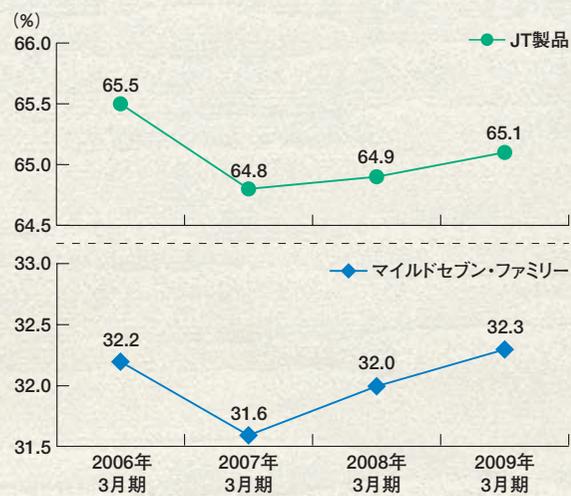
国内たばこ事業については、構造的要因を背景とした総需要の減少傾向に加え、「taspo」(タスポ)稼動による一時的な購買機会の損失により、販売数量は4.7%の減少となりました。一方「taspo」導入により販売ウエイトが高まったコ

ンビエンスストアを中心とした対面販路において、マイルドセブン・ファミリーを中心に露出強化を図ったことや、主力ブランドにおける新製品の投入、製品のデザイン改善等を実施した結果、2期連続でのシェア増加を達成しました。

■図2 総需要・販売数量実績



■図3 JT製品の市場シェア



■表2 国内たばこ事業実績

	2008年3月期実績	2009年3月期実績	増減
税抜売上高(除く輸入たばこ)	7,150	6,793	△ 357
営業利益	2,223	1,882	△ 340

海外たばこ事業

海外たばこ事業については、グローバル・フラッグシップ・ブランドを中心とした売上成長の継続とギャラハー社の通期化寄与により売上

高が前年度を大きく上回りました。営業利益はのれん償却費用の計上により減益となりました。

■表3 海外たばこ事業実績*

	2008年3月期実績	2009年3月期実績	増減
税抜売上高(除く物流事業)	9,459	11,023	1,563
営業利益	2,053	1,747	△ 305

*海外たばこ事業実績は2008年1-12月期を連結

医薬事業

医薬事業については、メルク社へ導出した経口骨粗鬆症治療薬「JTT-305」の一時金収入等や、ロシュ社へ導出した脂質異常症治療薬「JTT-

705」の開発の進展に伴うマイルストーン収入があったこと等から、増収となり、利益についても改善しました。

■表4 医薬事業実績

(単位:億円)

	2008年3月期実績	2009年3月期実績	増減
売上高	490	567	76
営業利益	△ 96	10	106

■医薬事業 臨床開発品目 (2009年4月30日現在)

開発名	開発段階	主な適応症	詳細	権利
JTT-705 (経口)	国内:Phase2	脂質異常症	HDL (高密度リポ蛋白:善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	スイスのロシュ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 (同社ではPhase3)
JTT-130 (経口)	国内:Phase2 海外:Phase2	脂質異常症	MTPを阻害することにより、コレステロール及びトリグリセリドの吸収を抑制し、脂質値を低下させる	
JTK-303 (経口)	国内:Phase1	HIV感染症	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	米国ギリアド・サイエンシズ社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出 (同社ではPhase3)
JTT-302 (経口)	海外:Phase2	脂質異常症	HDL (高密度リポ蛋白:善玉コレステロール) 中のコレステロールをLDL (低密度リポ蛋白:悪玉コレステロール) に転送するCETPを阻害することにより、血中HDLを増加させる	
JTT-305 (経口)	国内:Phase2	骨粗鬆症	副甲状腺細胞のCaSRに作用し、血中Caの感知を阻害することで副甲状腺ホルモンの分泌を促し、骨の代謝回転を高めることにより骨形成を促進する	米国メルク社へ日本を除く全世界の開発・商業化権を導出
JTS-653 (経口)	国内:Phase1	鎮痛、過活動膀胱	知覚神経に存在するTRPV1の働きを阻害することにより症状を改善する	
JTT-654 (経口)	国内:Phase1 海外:Phase1	2型糖尿病	HSD-1の働きを阻害することにより、過剰なグルココルチコイド作用を抑制する	
JTK-656 (経口)	海外:Phase1	HIV感染症	HIV (ヒト免疫不全ウイルス) の増殖に関わる酵素であるインテグラーゼの働きを阻害する	
JTT-751 (経口)	国内:Phase2	リン吸着剤	消化管内で食物から遊離するリンを吸着することで、リンの体内吸収を抑える	米国ケリックス・バイオファーマシューティカルズ社より日本における開発・商業化権を導出 (鳥居薬品と共同開発)

前回 (2009年2月9日) 公表時からの変更点: JTT-751の国内臨床入り
JTT-651の開発中止

【付記事項】

英国グラクソ・スミスクライン社は、2006年4月18日に当社が同社へ全世界での開発・商業化権を導出したMEK阻害剤が臨床入り (Phase1) したことを2009年3月に公表

各事業の概要

食品事業

食品事業については、加工食品事業における農薬混入事件影響等に伴う売上の減少、飲料事業における天候影響及び競争激化に伴う売上の減少に加え、昨今の急激な景気後退による消費低迷の影響を受けたものの、加ト吉グループの

連結等により、増収となりました。一方営業損益については、経費の増加、原材料価格の高騰及び加ト吉グループ連結に伴うのれん償却の影響等により、営業損失を計上しました。

表5 食品事業実績

(単位：億円)

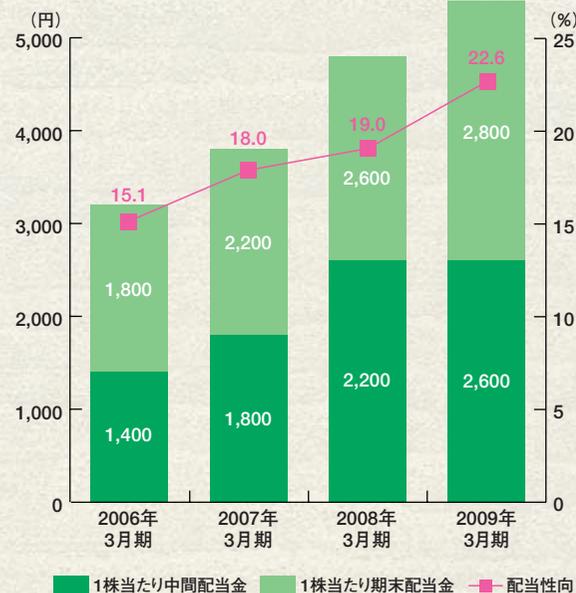
	2008年3月期実績	2009年3月期実績	増減
売上高	3,364	4,359	995
営業利益	6	△ 114	△ 121

配当

2009年3月期の期末配当については、1株当たり2,800円とし、中間配当と合わせ年間配当金は1株当たり5,400円とさせていただきます。

配当については、連結配当性向20%を目指し、配当水準の継続的な向上を実施してきましたが、2009年3月期には目標ののれん償却影響を除いた上で連結配当性向20%を上回ることができました。

図4 のれん償却影響を除いた配当性向と1株当たり配当金の推移



※2006年4月1日を効力発生日として、1株につき5株の割合で株式分割を実施しており、2006年3月期以前の実績は遡及して修正

「2010年3月期(2009年度)業績予想」

2010年3月期(2009年度)の業績予想については、海外たばこ事業において好調な販売実績が継続するものの、国内たばこ事業における総需

要の減少に伴う販売数量の減少に加え、海外たばこ事業における為替のマイナス影響を大きく受けることにより減収減益となる見込です。

表6 2010年3月期(2009年度)業績予想

(単位：億円)

	2009年3月期実績	2010年3月期見込	増減
税込売上高	68,323	60,000	△ 8,323
調整後税抜売上高 ^{※1}	22,436	19,850	△ 2,586
EBITDA ^{※2}	6,462	4,750	△ 1,712
営業利益	3,638	2,440	△ 1,198
経常利益	3,075	2,270	△ 805
当期純利益	1,234	1,000	△ 234

※1 たばこ税、国内たばこ事業における輸入たばこ、国内免税、中国事業、その他及び海外たばこ事業における物流事業、PB、製造受託、その他を控除した売上高
 ※2 EBITDA=営業利益+減価償却費 キャッシュフローベースの利益

参考：のれんの償却影響を除く当期純利益

	2009年3月期実績	2010年3月期見込	増減
当期純利益	2,289	1,970	△ 319

●将来に関する記述等についてのご注意

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する業績見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提(仮定)を使用しています。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見直しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げる

ことができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度末 (2008年3月31日)	当連結会計年度末 (2009年3月31日)	増減金額
資産の部			
流動資産	1,234,695	1,095,682	△ 139,013
固定資産	3,852,518	2,784,121	△ 1,068,397
有形固定資産	763,332	668,742	△ 94,589
建物及び構築物	281,742	234,853	△ 46,888
機械装置及び運搬具	218,973	188,993	△ 29,980
土地	157,380	147,219	△ 10,161
その他	105,234	97,676	△ 7,558
無形固定資産	2,759,407	1,831,843	△ 927,563
のれん	2,106,887	1,453,961	△ 652,925
商標権	613,496	347,372	△ 266,124
その他	39,023	30,509	△ 8,513
投資その他の資産	329,778	283,534	△ 46,243
資産合計	5,087,214	3,879,803	△ 1,207,410

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度末 (2008年3月31日)	当連結会計年度末 (2009年3月31日)	増減金額
負債の部			
流動負債	1,284,396	1,093,403	△ 190,992
固定負債	1,648,188	1,162,111	△ 486,077
負債合計	2,932,584	2,255,514	△ 677,069
純資産の部			
株主資本	2,106,311	1,986,810	△ 119,501
評価・換算差額等	△ 30,238	△ 433,997	△ 403,758
新株予約権	185	364	179
少数株主持分	78,370	71,109	△ 7,260
純資産合計	2,154,629	1,624,288	△ 530,340
負債及び純資産合計	5,087,214	3,879,803	△ 1,207,410

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

のれんの償却により減少しました。また、今年度の期首において、過年度の償却相当額を調整しました。のれんの期首調整に伴い、株主資本に含まれる利益剰余金も調整しました。

円高の影響により、在外子会社の資産・負債の期末評価額が圧縮されました。

円高の影響により、評価・換算差額等に含まれる為替換算調整勘定が多額のマイナス計上となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)	当連結会計年度 (2008年4月1日から 2009年3月31日まで)	増減金額
売上高	6,409,726	6,832,307	422,580
売上原価	5,228,925	5,554,398	325,473
売上総利益	1,180,801	1,277,908	97,107
販売費及び一般管理費	750,247	914,102	163,854
営業利益	430,553	363,806	△ 66,747
営業外収益	21,533	30,335	8,802
営業外費用	89,405	86,555	△ 2,849
経常利益	362,681	307,586	△ 55,095
特別利益	68,964	48,377	△ 20,587
特別損失	59,032	93,819	34,786
税金等調整前当期純利益	372,614	262,143	△ 110,470
法人税、住民税及び事業税	128,379	134,972	6,593
少数株主利益	5,532	3,771	△ 1,761
当期純利益	238,702	123,400	△ 115,302

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

国内たばこ事業において販売数量の減少等があったものの、海外たばこ事業における売上成長の継続、海外たばこ事業におけるギャラハー社・食品事業における加ト吉の業績の通期化寄与により増収となりました。

会計基準の変更に伴う海外たばこ事業におけるのれんの償却開始や国内たばこ事業における販売促進費の増加等により、減益となりました。

為替差損の減少があったものの、ギャラハー社買収に伴い増加した借入金に係る支払利息の通期化で一部相殺され、減益となりました。

固定資産売却益の減少、将来の売却に備えた廃止社宅等の取壊し撤去費用を含む関連損失の発生、海外たばこ事業において、フィリピン市場におけるライセンスビジネスの事業構造を変更したことに伴う費用及び加ト吉グループにおける事業体制の再編に向けた費用の計上により減益となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2007年4月1日から 2008年3月31日まで)	当連結会計年度 (2008年4月1日から 2009年3月31日まで)	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	145,030	275,271	130,241
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,668,634	△ 65,008	1,603,626
財務活動によるキャッシュ・フロー	519,000	△ 217,470	△ 736,470
現金及び現金同等物に係る換算差額	40,090	△ 39,590	△ 79,680
現金及び現金同等物の増減額	△ 964,513	△ 46,797	917,715
現金及び現金同等物の期首残高	1,179,522	215,008	△ 964,513
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△ 953	△ 953
現金及び現金同等物の期末残高	215,008	167,257	△ 47,750

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

前期にギャラハー社株式の取得があったことによるものです。

前期に主にギャラハー社株式取得に係る資金調達を目的として金融機関からの借入を実施しましたが、今期は一部返済を進めていることによるものです。

中期経営計画「JT - 11」^{イレブン}について

— 環境変化を見据えた持続的成長に向けて —

目指す企業像（長期ビジョン）

この度、当社は2011年度までの3年間についての中期経営計画「JT - 11」を策定しました。世界的な金融危機が実体経済へ波及する中、米国、欧州はもとより、アジアにおいても景気の後退が深刻化しました。わが国経済についても、世界的な景気後退の影響が波及し、企業収益の大幅な減少や雇用情勢の急速な悪化等、厳

しい状況となっています。このような状況の中、当社は、従来の基本的な枠組みを変えることなく、長期ビジョンにおける目指す企業像として、「JTグループならではの多様な価値をお客様に提供するグローバル成長企業」を目指していきます。

●目指す企業像（長期ビジョン）

「JTグループならではの多様な価値をお客様に提供するグローバル成長企業」

- ◆国内たばこ事業
「利益創出の中核」として、母国市場である国内市場において、全ての面で競合他社を圧倒する
- ◆海外たばこ事業
収益性あるいは市場シェアにおいて、リーディングカンパニーとしての地位を継続しうる市場を数多く保有し、「利益成長の牽引役」としての役割を果たし続ける
- ◆医薬事業
世界レベルの新薬創出により、高付加価値の事業を展開する
- ◆食品事業
世界水準の競争優位性を有する企業集団として、持続的な成長を実現し利益の増大を図る

「JT - 11」における目標と方向性

当社を取り巻く事業環境はこれまで以上のスピードと規模でより激しく、より厳しい方向へと変化していくものと想定しています。

「JT - 11」では、「今後想定される様々な環境変化を見据え、将来に亘る持続的な成長を可能とするために、将来に向けた投資と不断の業務

改善の実践を通じ、力強い事業モメンタムを確たるものにしていく」ことをテーマとしています。

具体的には「JT - 11」の全社中期目標と各事業の目標並びに資源配分の考え方を次のように決めました。

●中期経営計画「JT - 11」の全社中期目標と各事業目標

【全社中期目標】
2009年度を基点とし、事業モメンタムで年平均5%以上のEBITDA*成長を目指す

【各事業目標】

- ◆国内たばこ事業
2009年度EBITDA*水準の維持を目指す
- ◆海外たばこ事業
2009年度を基点に、為替レート一定の前提で年平均10%以上のEBITDA*成長継続を目指す
- ◆医薬事業
後期開発品の充実とR&Dパイプラインの強化を目指す
- ◆食品事業
2009年度EBITDA*+100億円を目指す

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費

●「JT - 11」の資源配分

- ◆事業投資
 - 設備投資・研究開発投資・ブランドエクイティ投資等
 - 外部資源の獲得
- ◆株主還元
 - 中長期的な成長戦略の実施状況や連結業績見通しを踏まえつつ、資本市場における競争力ある株主還元を目指す
 - 配当
 - 中期的に連結配当性向30%（のれんの償却影響を除く）を目指し、安定的・継続的な配当向上に努める
 - 自社株買い
 - 経営の選択肢の拡充
- ◆流動性を確保しつつ、有利子負債を圧縮

「JTグループミッション」と「JTグループWAY」

「JT - 11」のスタートにあたり、新しい「JTグループミッション」とそれを実現するための行動指針「JTグループWAY」を策定しました。私たちは、『自然・社会・人間の多様性に価値を認め、お客様に信頼される「JTならではのブランド」を生み出し、育て、高め続けていくこと』をミッションと位置付け、私たち一人ひ

とりが、お客様を第一に考え、誠実に行動すること、あらゆる品質にこだわり、進化し続けること、JTグループの多様な力を結集することを通じて、キャッシュ・フローを増大させ、企業価値の増大を図り、当社グループを取り巻く様々なステークホルダーの方々の信任を得られる経営に今後とも努めていきます。

●「JTグループミッション」&「JTグループWAY」

JTグループミッション

私たちJTグループの使命。それは、自然・社会・人間の多様性に価値を認め、お客様に信頼される「JTならではのブランド」を生み出し、育て、高め続けていくこと。

新コミュニケーションワード

ひとの
ときを、
想う。 JT

JTグループWAY

- そのために、私たち一人ひとりが、
- お客様を第一に考え、誠実に行動します。
 - あらゆる品質にこだわり、進化し続けます。
 - JTグループの多様な力を結集します。

JTグループならではの多様な価値をお客様に提供するグローバル成長企業

日本フィルター工業(株)

世界一のフィルター会社を目指して

日本フィルター工業(株)(以下JFT)は、たばこのキーパーツであるフィルターの専門メーカーとして1958年に創立して以来、JTグループの中核企業として着実な取り組みを続けてきました。現在では、JT及び海外のグループ会社が製造するたばこのフィルターを製造しているほか、フィルター造りの技術・経験を活かした事業も展開しています。

すべてのJT製品にフィルターを供給

JFTは、国内の4工場で100種類以上、年間約500億本のたばこ用フィルターを製造しています(※注)。現在日本で製造されているすべてのJT製品のフィルターを供給しているほか、ドイツ、ロシア、ウクライナなどのJTグループ企業及び韓国、中国などに製品を輸出しています。

たばこという製品の特性上、フィルターの開発は、葉たばこのブレンドや巻紙、味や香りなどとの関係をトータルで考えなければなりません。技術開発センターではJTとの協業による研究・開発を行うことにより、求められる品

(※注) たばこ用フィルターはたばこ工場において4分割して使用されます。シガレットに換算すると約2,000億本相当になります。

質の製品を低コストで開発し、タイムリーな供給を実現しています。



フィルター商品の一部。
長年の経験とフィルター製造技術をベースに
新製品開発にも力を注いでいます

フィルター造りの技術を活かした事業展開

フィルター以外の事業展開としては、独自に開発したフィルター製造機をイタリア、ロシアなどに輸出しています。また、羽村工場におい

てはフィルター造りの技術を活用して、吸油性・保水性に優れた自社ブランド品及びOEM生産品のクッキングペーパータオルを製造しています。



海外に輸出しているJFT独自開発の
フィルター製造機



フィルター造りの技術を活用して
クッキングペーパータオルを製造

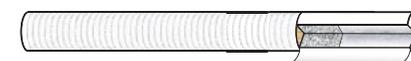
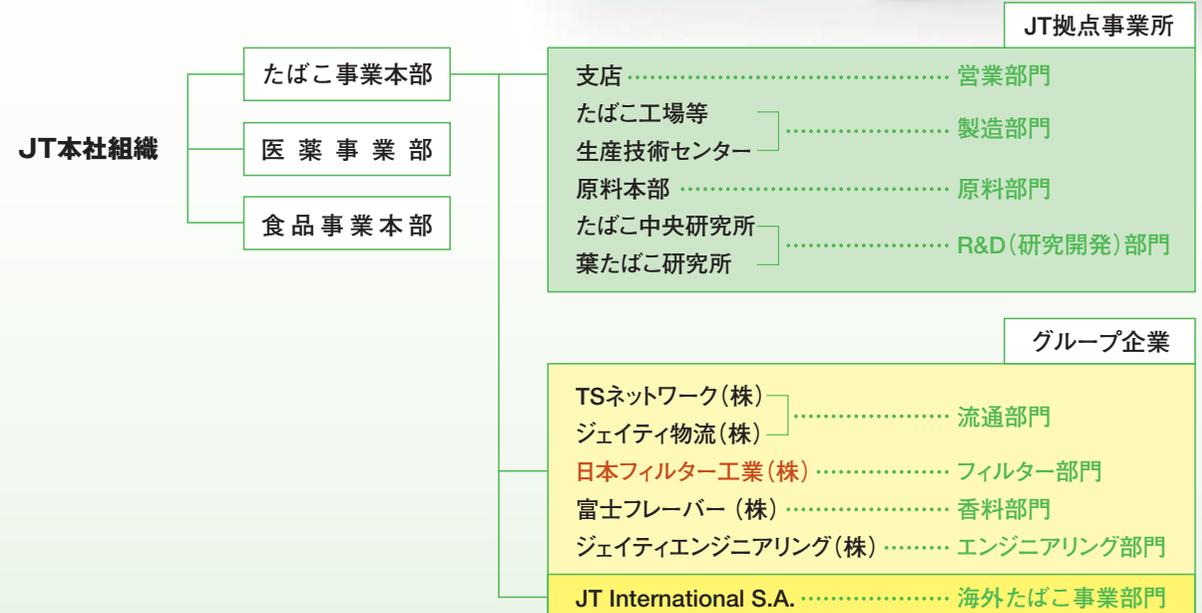
会社概要

- 会社名：日本フィルター工業株式会社 (JAPAN FILTER TECHNOLOGY,LTD.)
- 所在地：東京都渋谷区南平台5-1 日本たばこ渋谷ビル3F
- 設立：1958年9月
- 売上高：304億円 (2008年度)
- 代表者名：代表取締役社長 西澤 省悟
- 従業員数：830名

事業内容

- たばこ用フィルタープラグの製造及び販売 (国内・海外)
- フィルター製造機の製造及び販売 (海外)
- クッキングペーパータオル等の製造及び販売 (国内)

JTグループ組織図



What's Filter?

フィルターはパルプを主原料とし、たばこの煙を適度に濾過することで煙成分をコントロールし、喫味をマイルドにする役割を担っています。また、たばこの刻みが口中に入ることを防いだり、適度な硬さがあることでたばこを吸いやすくします。種類別には、世界で最も多く使用されているアセテートフィルター、日本のたばこ製品の大部分

を占めるデュアルチャコールフィルターに加え、特殊なタイプとしてネオフィルター、加香フィルター、リセドフィルターなど、製品特性に合わせた様々なフィルターがあります。日本初のフィルター付製品である「ホープ」の登場以降、フィルターは新たなシガレットの可能性を広げ続けています。

『函館市北方民族資料館』 [北海道]



卓越した木工技術が生んだ 北の風土に根付いた喫煙具

北海道函館市にある『函館市北方民族資料館』は、北方地域（＝北海道以北の地域）で生活を営んできた人々の歴史的な文化資料を数多く展示しています。実際に館内を見学すると、北海道のアイヌ民族をはじめ、サハリンのウイリタ民族、ロシア北部のコリヤーク民族など、極寒の地で暮らす人々の生活様式を詳しく知ることができます。

展示物の中でも目を引くのは、卓越した木工技術を持つアイヌ民族の生活用具。マキリ（＝小刀）と呼ばれるナイフで木から型を造作し、これらに緻密で幾何学的な文様が施されます。

この中に、キセルを中心と

した喫煙具も多く、代表的なものとして“木製のキセル・キセルを収めるホルダー・たばこ入れ”の3点セットがあります。これらの喫煙具は、客人をもてなす時や儀式などに欠かせないものとして使用され、成人男性は自分自身で喫煙具を作り、肌身離さず大事に使用したといわれています。

アイヌ民族へのたばこの伝播は、日本の本州と、中国及びロシアの大陸側からの2つのルートから伝えられました。機能やデザインにおいても、日本らしさと大陸的な部分の両方を兼ね備えた喫煙具の数々を通し、北方地域特有の喫煙文化の一端を垣間見ることができます。



アイヌ民族が使用したキセル。吸い口は金属製だが、先端の雁首部分から羅宇は木製になっている



“木製のキセル・キセルを収めるホルダー・たばこ入れ”の3点セット。ホルダーを腰に差し、キセルと煙草入れを持ち運べるように作られている



喫煙具は、マキリ（＝小刀）や弓など男性の仕事に使われた用具をもとに、館内2階の生活用具コーナーに展示されている



赤レンガ倉庫が並ぶ函館港と、津軽海峡を背にした函館山の間をカラフルな路面電車が往来し、古き良き時代を肌で感じることができる街・函館。ロープウェイを使い、函館山山頂の展望台に登れば、海に囲まれた函館市街が一望でき、開放的な雰囲気が満喫できます。そんな街にある函館市北方民族資料館は、大正15（1926）年に建てられた「旧日本銀行函館支店」の建物を再利用しています。近隣にも明治・大正期に建てられた建造物が多く、ノスタルジックな町並みが広がっています。



■函館市北方民族資料館

- 所在地
〒040-0053
北海道函館市末広町 21-7
(函館市電「末広町停留所」から徒歩1分)
- お問い合わせ先
0130-22-4128
- 開館時間
9:00～19:00 (4～10月)
9:00～17:00 (11～3月)
- 休館日
12/31～1/3
(ただし、館内整理のため、臨時休館することがあります)
- 入館料
一般 300円(当館券) 学生 150円(当館券)
<http://www.zaidan-hakodate.com/hoppominzoku/min.htm>



青少年育成に関するNPO助成事業

JTは、社会貢献活動の一環として、特定非営利活動法人(NPO法人)をはじめとした非営利法人が行う「青少年の育成」につながる事業に対する助成を行っています。

次世代の社会を担う 青少年の健全な育成のために

JTグループは、社会と共生する「良き企業市民」であることを目指し、「JTグループの社会貢献活動の基本方針」を定め、様々な社会貢献活動に取り組んでいます。

その活動の一環として、JTでは、地域コミュニティの再生と活性化を推進し、より良い社会を築いていくためには、人材育成、とりわけ次世代の社会を担う「青少年の育成」が重要であるとの認識から、その健全な育成のため、非営利法人(NPO)が地域と一体となって取り組む事業を支援しています。

助成団体の選考にあたっては、毎年10月～11月中旬にかけてNPO助成対象事業の募集を行い、書類審査、面談、さらにNPO助成プログラム推進委員会での審議を経て助成先団体を決定します。このNPO助成プログラム推進委員会は、

社会情勢及び社会的ニーズを踏まえ、広く公正な見地から選考を行うために、社外有識者を中心に構成しています。

2008年10月に募集を開始し、選考を進めてきた2009年度助成対象事業には全国から176件の応募申請があり、審議の結果、全国で43法人、総額約5,400万円の助成を行うことを決定しています。

助成実績

- 1999～2008年度助成実績
延べ706件 総額約8億5,300万円
- 2009年度助成事業
助成件数43件 総額約5,400万円

2008年度NPO助成対象事業 活動事例

子育て研究会（滋賀県草津市） 「発達障害児自然チャレンジ活動」

この活動は、障がいを持った小学生～高校生が自然とふれあうことを目的とするもので、今回は「木登り体験レッツ！ ツリーイング」と題し、ロープを使っての木登りを体験してもらいました。活動当日はJT京都支店とJT大阪支店から社員が参加し、活動のサポートを行いました。



将棋で「ココロ」を育てたい。

JT将棋日本シリーズ

こども大会／プロ公式戦

2009年度「JT将棋日本シリーズ」開幕！

今年で30回目を迎える「JT将棋日本シリーズ」が6月13日の東海大会からスタートしました。11月22日の東京大会まで、全国11都市で開催されます。

本シリーズは、「将棋でココロを育てたい」をテーマとし、指して学ぶ「こども大会」と、見て学ぶ「プロ公式戦」が同日同会場で開催されます。日本の伝統文化である将棋を通じ、「様々な心を感じることで、こどもたちに心の成長を

育んでもらいたい。」との想いで実施しています。30回目となる2009年度「JT将棋日本シリーズ」は、6月13日の東海大会からスタートし、11月22日の東京大会まで、全国11都市で開催されます。

● こども大会 ●

今年で9回目を迎える「こども大会」は、昨年の参加者が6,000名を超え、こどもの将棋大会としては国内最大規模の大会です。将棋のルールを知っている小学生なら誰でも参加でき（事前申込制）、決勝まで勝ち進むと、羽織・袴を着て「プロ公式戦」と同じ舞台上で対局を行うことができます。



● プロ公式戦 ●

「こども大会」に引き続き行われる「プロ公式戦」は、トッププロ棋士12名によるトーナメント戦です。解説を交えながら公開対局で行われ、「こども大会」に出場した参加者がそのまま観戦することができます。持ち時間10分という超早指しルールのもとで行われるこの対局は、「名局・秀局が生まれやすい」といわれています。



● プロ棋士訪問授業 ●

各地区大会に先立ち、プロ棋士が小学校などで将棋を直接指導する「プロ棋士訪問授業」を開催しています。指導対局のほか、将棋の持つ楽しさ・醍醐味・礼儀作法の大切さや、プロ棋士の実体験などの講話を行い、プロ棋士とのふれあいを楽しんでいただきます。



■ 2009年度「JT将棋日本シリーズ」こども大会／プロ公式戦 大会日程(7月以降)

	大会名	実施日	会場	
一回戦	第三局 東北大会	7月 4日(土)	夢メッセみやぎ	
	第四局 四国大会	7月11日(土)	サンメッセ香川	
	二回戦	第一局 北海道大会	7月18日(土)	北海道立総合体育センター「きたえーる」
		第二局 静岡大会	8月29日(土)	ツインメッセ静岡
	第三局 福岡大会	9月12日(土)	福岡国際会議場	
	第四局 中国大会	9月19日(土)	広島サンプラザ	
準決勝戦	第一局 熊本大会	10月 3日(土)	グランメッセ熊本	
	第二局 大阪大会	10月31日(土)	大阪市中央体育館	
決勝戦	東京大会	11月22日(日)	東京国際展示場ビッグサイト	

日程・会場の詳細は公式ホームページまで <http://www.jti.co.jp/knowledge/shogi/>

「たばこと塩の博物館」 リニューアルオープン!!

「たばこと塩の博物館」は、たばこと塩に関する資料の収集・調査・研究を行うとともに、その歴史と文化を広くご紹介することを目的として、JTが1978年に設立した施設です。このたび、よりたくさんの方々にお楽しみいただけるよう改装を行い、4月18日にリニューアルオープンしました。

今回、博物館1階を中心に大幅なリニューアルを行い、エントランスホールと前庭部分にはミュージアムカフェが誕生しました。入館者の方はもちろん、公園通りの新しい憩いの場として皆様にお楽しみいただけます。あわせて、今までご来館の方のみご利用いただけたミュージアムショップも、皆様に無料でご利用いただけ



新しくなったミュージアムショップ。ショップのみでもご利用いただけるようになりました



エントランスにオープンカフェが誕生!

るようになりました。講演会や映画上映を行っている視聴覚ホールも、ご来館される方によりご満足いただけるよう、大型スクリーンでハイビジョン映像も上映できる設備にリニューアルしています。新しくなった「たばこと塩の博物館」にぜひお越しください。

たばこと塩の博物館

嗜好品として世界の人々から愛され続けているたばこと、生命の糧として人類と深い関わりをもってきた塩。「たばこと塩の博物館」では、それらの資料の収集・調査・研究を行うとともに、その歴史と文化を展示やイベントを通じて紹介しています。

開館時間 ● 10:00～18:00 (入館は17:30まで)
休館日 ● 月曜日 (月曜日が祝日、振替休日の場合は翌日)
年末年始 (12/29～1/3)
入館料 ● 大人・大学生 100円 (50円)
小・中・高校生 50円 (20円)
()内は20名以上の団体料金
70歳以上は無料 (証明書が必要)

〒150-0041
東京都渋谷区神南1-16-8 (渋谷駅より徒歩10分)

■お問い合わせ先 03-3476-2041

<http://www.jti.co.jp/Culture/museum/WelcomeJ.html>



株主優待商品のご案内

JTでは株主の皆様にご当社グループ商品のご利用を通じて、当社グループの事業をより一層ご理解いただきたいとの思いから、株主優待制度を実施しております。

2009年3月31日現在、当社株式1株以上保有の株主様に「株主優待のご案内」と「株主様ご優待申込書(ハガキ)」を「株主総会招集ご通知」に同封し、6月1日に発送させていただきました。「株主様ご優待申込書(ハガキ)」に必要事項

をもちにご記入のうえ、期限(6月22日)までにお申し込みいただいている場合は、7月下旬に優待商品をお届けいたします。なお、お申し込み期限を過ぎている場合や、お申し込みいただけなかった場合は、「飲料詰め合せセット」をお届けさせていただきます。

●優待商品のお届け予定 7月下旬

※必要事項をもちにご記入のうえ、期限までにお申し込みいただいた場合

【Aコース】1株～4株保有の株主様 2,000円相当

- 1 飲料詰め合せセット
日本たばこ産業(株)
(販売会社:ジェイティ飲料(株))
- 2 ご飯詰め合せセット
(12パック)
(株)加ト吉
- 3 ジェントリースープセット
富士食品工業(株)



香り豊かな、コクのある缶コーヒー「ルート」を中心に、厳選した飲料商品をお届けします。



越後の自然が育んだ水を炊飯水に使用した「新潟県産こしひかり100%ご飯」と、もち米100%使用、ふっくらと粘りのある「赤飯」をセットにしました。



素材本来の味にこだわりました。お湯を注ぐだけでお手軽においしく本格スープをお楽しみいただけます。

【Bコース】5株以上保有の株主様 3,000円相当

- 1 飲料及び新潟県魚沼産こしひかり
ご飯詰め合せセット
日本たばこ産業(株)(販売会社:
ジェイティ飲料(株))及び(株)加ト吉
- 2 ご飯詰め合せセット
(16パック)
(株)加ト吉
- 3 ジェントリースープ及び
中華調味料詰め合せセット
富士食品工業(株)



香り豊かな、コクのある缶コーヒー「ルート」を中心に厳選した飲料商品と、最高級米を使用した「新潟県魚沼産こしひかりご飯」のセットをお届けします。



最高級米を使用した「新潟県魚沼産こしひかりご飯」のほか、食物繊維を含んだ特定保健用食品の「いきいきごはん」、もち米100%使用、ふっくらと粘りのある「赤飯」をセットにしました。



お湯を注ぐだけでお手軽にお楽しみいただける「ジェントリースープ」各種と、本格メニューからお手軽メニューまで幅広くお使いいただける中華調味料各種のセットをお届けします。

株主優待商品発送等 お問い合わせ先

JT株主優待事務局
(商品発送代行:株式会社ジェイティクリエイティブサービス)
0120-791-187
受付時間 9:00～17:00 土・日・祝日を除く

NEWS

●新コミュニケーションワード——「ひとのときを、想う。」策定

JTは、新中期経営計画「JT-11」の策定にあわせて、新しいコミュニケーションワード「ひとのときを、想う。」を策定しました。

新コミュニケーションワードは、心からくつろげる“ひととき”、本当においしいと思える“ひととき”、充実した人生を送る“時間”、そんなお客様にとっての『かけがえのないひととき』や『大切な時間』を想う企業だからこそ生み出せる価値を、私たちJTグループはこれからも提供し続けていきたい、そしてすべてのお客様

一人ひとりの心をより豊かなものにしていきたいという意思を表現したものです。

また、コミュニケーションワードの変更に伴い、今号より業績報告書のタイトルを変更いたしました。今後ともご愛顧のほどよろしくお願いたします。



●JTの植林／森林保全活動第8弾——「JTの森 鶴岡」森林保全活動を開始

JTは、自然環境保全の取り組みの一環として、山形県鶴岡市内の海岸砂防林、約25haを借り受け「JTの森 鶴岡」として植林／森林保全活動を開始しました。国内の植林／森林保全活動「JTの森」としては8か所目、東北地区では初の活動となります。

今回、協定対象となったのはクロマツが主体

の砂防林で、老木化や疎林化、松くい虫被害やニセアカシア(外来植物)の繁茂などにより森林荒廃が進み、手入れが必要とされていました。5年間の活動で、暮らしや農地を守る砂防林としての機能を高めるとともに、訪れた方が森林と親しむことができる環境保全林づくりを目指し、地域と協働で森林整備に取り組みます。

●リッチ&ローストな香ばしさ——「キャビン・ローストブレンド・100's・ボックス」4月より全国拡販

JTは、キャビン・ファミリーから生まれた新コンセプト商品「キャビン・ローストブレンド・100's・ボックス」を4月上旬にエリア限定販売から全国販売に拡大しました(※注)。

「キャビン・ローストブレンド・100's・ボックス」は、キャビンシリーズの特徴でもある「香ばしさ・コク・深み」をさらに引き立たせた製品で、「忙しい毎日の中でも、くつろいだ気分で喫煙したい」というお客様のニーズにお応えできるよう、味作りからパッケージデザインにいたるまでこだわりました。

味・香りは、キャビン・ファミリーの特徴である香ばしさやコクを踏襲しながら、ほどよい

甘さとほろ苦さを、香ばしい香りと深い味わいの中で楽しめる仕上がりとし、「リッチ&ローストな香ばしさ」を実現しました。

(※注)2008年7月に北海道限定で販売しています。

「キャビン・ローストブレンド・100's・ボックス」

製品サイズ：フィルター付スーパーキングサイズ
フィルタータイプ：チャコールフィルター
タール値：8mg/本
ニコチン値：0.6mg/本
包装形態：20本入りハードパック
価格：300円

JTグループ商品のご案内

リニューアル ルーツ 「アロマブラック」

300gボトル缶/130円(希望小売価格 消費税別)

●ご好評いただいているルーツ「アロマブラック」が味・パッケージともにリニューアル。従来の「新じっくり焙煎」に加え、アロマを引き出すことに特化した「アロマ焙煎」を新たに取り入れ、それぞれの焙煎豆をブレンドすることで、さらに豊かな香りとコクを引き出しました。



●キャップは、従来の「スリップレスキャップ」の側面に凹凸をつけることで、さらに滑りにくくなりました。

「豊かなアロマ」でさらなる味わい

リニューアル 「たこ焼き」 23個入(460g)



●生地を配合を改良し、ますますとろける食感に仕上げました。さらに、鰹だしをきかせて旨みをアップ! ソースなしでもおいしく食べられます。旨みをしっかり閉じこめたこのほか、キャベツ、ねぎ、紅生姜入りです。

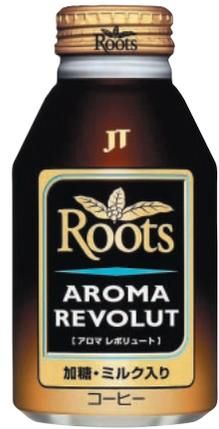
●パーティや、ファミリー用にぴったりなボリュームパック。おやつ、お弁当にと食べ方も自由自在にお楽しみいただけます。

とろ〜り感アップで、さらにおいしく!

5月25日発売 ルーツ 「アロマレボリュート」

275gボトル缶/140円(希望小売価格 消費税別)

●中南米産を中心にアラビカ豆を100%使用し、「新じっくり焙煎」で深めに焼き上げることで、砂糖とミルクに負けない豊かな香ばしいアロマを引き出しました。また、牛乳に加え、植物性の「JTクリーミー※注」を併用し、コーヒーの香りをより際立たせました。



●パッケージは、「金」と「こげ茶」を基調とすることにより、砂糖とミルクが入った味わいを伝えるデザインとしました。

※注 熱劣化に強いJT独自の植物性油脂原料

今までにない“革命的な香り”

好評発売中 お弁当シリーズ 「ミニ春巻」 6個入(150g)



●国産黒豚肉、シャキシャキのたけのこ、にんじん、キャベツ、しいたけの5種類の具材をとろ〜りおいしくまとめ、パリッと揚げたての皮で包みました。

●XO 醬(海鮮系)、芝麻醬(ねりごま)、甜麵醬(甘みそ)に加え、特製オイスターソースでさらに香味をアップ! 本格中華の味わいをお楽しみください。

レンジで簡単、パリッと揚げたて!

いつでも好きなときにJTグループの商品をお買い求めいただけます。

JTオンラインショップ(飲料) <http://www.shopjt.com/>

加ト吉「美味しさ直送便」(食品) <http://www.rakuten.co.jp/katokichi/>

株式の諸手続きについて

(1) 株式の諸手続きについてのお問い合わせ先は？

当社株式の手続きにつきましては、原則として口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社までお問い合わせください。

◎住所変更の手続き

株主総会招集ご通知、配当金領収証又は配当金計算書、株主優待商品等のご登録のご住所あてにお送りさせていただいております。引越し等により、ご住所に変更があった場合には、口座を開設されている証券会社へ速やかにお届出をお願いいたします。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社へ速やかにお届出をお願いいたします。

(2) 配当金の受取方法は？

◎配当金のお受取方法の種類

配当金のお受取方法については、現金受取と口座振込がございます。口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます。現金受取をご選択の株主様には、配当金領収証をお送りいたしますので、お近くのゆうちょ銀行又は郵便局でお早めにお受け取りください。口座振込をご選択の株主様には、あらかじめご指定いただいた銀行・ゆうちょ銀行等の口座に配当金が振り込まれます。また、期末(中間)配当金計算書もお送りいたします。

口座振込には以下の3通りの方法がございます。

①個別銘柄(保有する各株式)ごとに銀行等の預金口座を指定してお受け取りいただく方法
保有する株式ごとにお受け取りいただく銀行等の預金口座を分けることができます。

②保有する株式の配当金を一括して銀行等の預金口座でお受け取りいただく方法

保有する株式の配当金を一括して、登録した振込先(銀行等の口座)でお受け取りいただけます。振込先の指定は、1つの金融機関に限ります。

③証券会社の取引口座でお受け取りいただく方法

証券会社の取引口座(複数の証券会社に残高がある場合は、残高に応じて配分します)で配当金をお受け取りいただけます。特別口座をご利用の株主様はご利用できません。

◎配当金のお受取方法の変更

口座を開設されている証券会社へご連絡ください。複数の証券会社に口座がある場合も、1つの証券会社で手続きができます。特別口座をご利用の株主様につきましては、特別口座管理機関であります三菱UFJ信託銀行株式会社へご連絡ください。

(3) 配当金関係の書類が届かない場合、又は配当金領収証を紛失した、あるいは払渡し期間を過ぎてしまった場合は？

上記の理由等により、配当金をお受け取りいただけなくなっている株主様は、当社の株主名簿管理人であります三菱UFJ信託銀行株式会社へご連絡ください。

●特別口座に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
フリーダイヤル 0120-232-711
(受付時間 土・日・祝日を除く 9:00~17:00)

郵便物送付先

三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号

特別口座に関する手続き用紙のご請求

フリーダイヤル 0120-244-479
(三菱UFJ信託銀行株式会社24時間テレホン自動音声応答サービス)

役員

取締役

取締役会長 涌井 洋治
代表取締役社長 木村 宏
代表取締役副社長 武田 宗高
代表取締役副社長 住川 雅明
代表取締役副社長 小泉 光臣
代表取締役副社長 志水 雅一
取締役 大久保憲朗
取締役 古谷 貞雄
取締役 新貝 康司

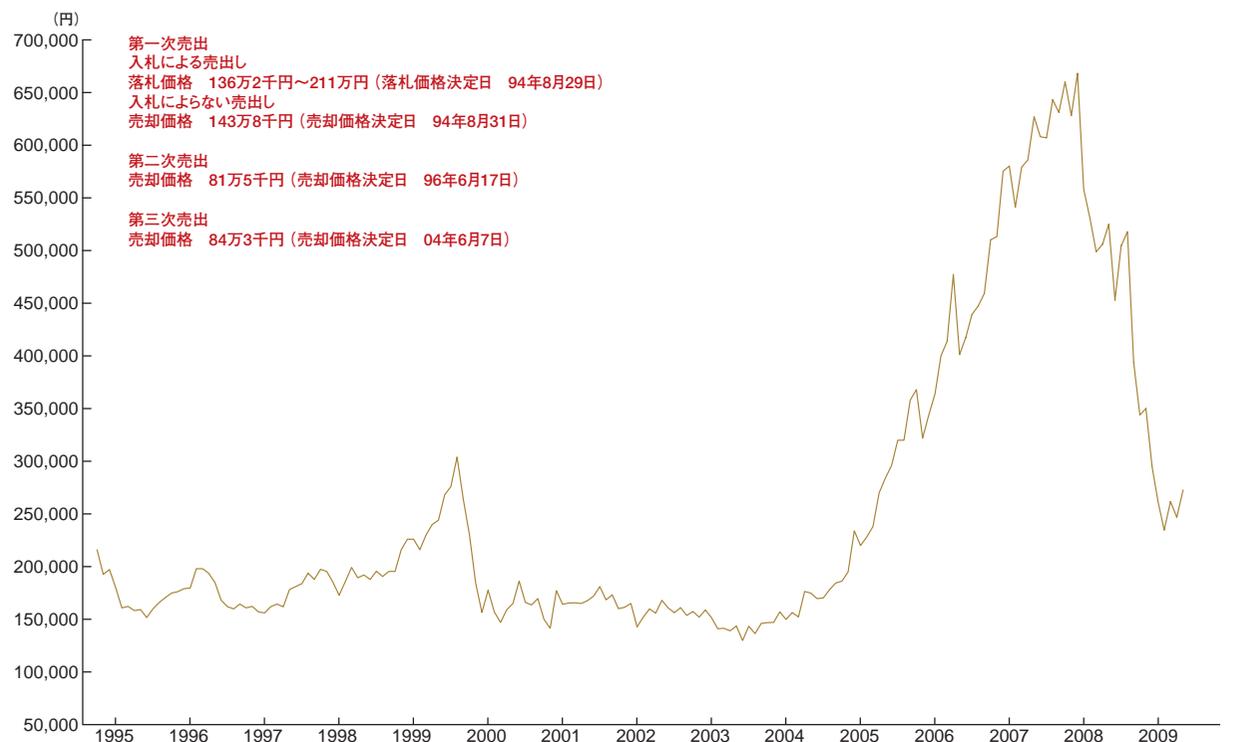
監査役

常勤監査役 立石 久雄
常勤監査役 塩澤 義介
監査役 藤田 太寅
監査役 上田 廣一

執行役員

社長 木村 宏
副社長 (コンプライアンス・財務・食品事業担当) 武田 宗高
副社長 (企画・人事・法務・監査担当) 住川 雅明
副社長 (たばこ事業本部長) 小泉 光臣
副社長 (コミュニケーション責任者 兼 CSR・総務担当) 志水 雅一
専務執行役員 (医薬事業部長) 大久保憲朗
専務執行役員 (法務責任者) 下村 隆一
常務執行役員 (たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者) 藤崎 義久
常務執行役員 (たばこ事業本部 R&D責任者) 岩波 正
常務執行役員 (たばこ事業本部 製造統括部長) 飯島 謙二
常務執行役員 (食品事業本部長) 古谷 貞雄
常務執行役員 (企画責任者) 岩井 睦雄
執行役員 (たばこ事業本部 R&D副責任者) 前島 宏敏
執行役員 (たばこ事業本部 原料統括部長) 村上 伸一
執行役員 (たばこ事業本部 中国事業部長) 川股 篤博
執行役員 (たばこ事業本部 事業企画室長 兼 渉外責任者) 佐伯 明
執行役員 (医薬事業部 医薬総合研究所長) 春田 純一
執行役員 (食品事業本部 飲料事業部長) 永田 亮子
執行役員 (人事責任者) 松本 智
執行役員 (財務責任者) 宮崎 秀樹
執行役員 (総務責任者) 千々岩良二

株価の推移 1994年10月27日上場~2009年5月 当社株価(東証終値,月間)



※2006年4月1日に1:5の株式分割を実施。2006年3月以前の株価は遡及して修正。